

やすらぎ穴水だよい

石川県教育支援センター
「やすらぎ穴水教室」

〒927-0026
石川県鳳珠郡穴水町大町里78-2
tel / fax (0768) 52-2258
E-mail anamio@ishikawa-c.ed.jp



街の景色が一気に冬モードに突入しています。近年は夏が過ぎても暑い日が続き、秋の愁いや情緒を感じる期間が短くなっていることに気づきます。人間だけでなく、動植物も季節や環境の変化の中でどう過ごしていいか戸惑っているようです。

児童・生徒たちは、学習だけでなく行事や大会に参加するなど、充実した2学期を過ごしたことでしょう。そんな中、ペースを掴めず、立ち止まっている児童生徒がいるかもしれません。やすらぎ穴水教室は、児童・生徒の足が学校に向きづらい時のささやかな居場所です。相談先の一つとして考えてみてください。

「羽ばたき」(不登校を考える保護者の会)を開催

10月17日(金)、当教室を会場にして「羽ばたき」(不登校を考える保護者の会)を開催しました。今年度からは、子どもの成長に願いを込めた新しい名称で実施することとしました。

前半は、育松園児童家庭支援センターハーモニー(小松市)で心理療法を担当されている高田拓実氏の講演会を行いました。高田氏は、日々の支援の現場で接する子どもたちの行動や保護者の思いを分析しながら、公認心理師・臨床診療士としての知見に基づいた示唆に富んだ講演を行いました。

後半は、保護者がSC・講師と語り合う懇談会を行いました。保護者が互いの思いを語ったり悩みを共有したりする機会となるだけでなく、子育てのヒントを得るなど充実した会となりました。



講演会の主な内容

- ・きっかけ、状態、時期はそれぞれだが周囲の見守りの仕方が重要なのは共通である。
- ・「学校に行きにくい」と感じている子どもに対して、現状を変えようと周囲が働きかければ、すべてが無価値だというメッセージになってしまう。
- ・エネルギー不足は活動範囲が狭まる（周囲に敏感、刺激からの逃避、否建設的な考え）。エネルギーが回復すれば選択の幅が広くなるので、「学校に行く・行かない」はいったん脇に置く（エネルギー＝ありのままでいること）。
- ・毎日子どもを見ていると、焦り・不安からすべての行動を否定的に見がちになり（関係悪化）、子どもにとって安心であるはずの家・親が脅威になってしまう。
- ・「いけないこと」を指摘するよりは、「できていること」に注目する。
- ・「輝いている時間（興味）」の積み重ねが生きる力に繋がる（「関心」に関心を持つ）。
- ・「自分で決める（自己選択）」という体験が大事。
- ・大人の人生も大事。家族が元気だと本人も元気に向かう。
- ・周りの人が「あなたは大丈夫」と思うことが大事（ダメな存在と決めつけない）。

・やすらぎ穴水教室利用状況(のべ相談件数と通室児童生徒)

	来室相談	SC 等訪問相談 (教室外)	電話相談 (メール含む)	SC 等相談 (教室内)	合計	通室 児童・生徒
9月	0	0	1	0	1	0
10月	0	2	0	0	2	0
11月	1	1	1	0	3	0

・令和7年度1月～3月 相談日 ※予定は変更になることがあります

SV相談会(9:00～12:00) 1/19 2/9 3/16

SC相談会(12:30～16:30) 1/29

SSW相談会(13:00～16:00) 1/14 2/18 3/11